

## 地域とともにある学校をめざして



去る8月30日(金)、中学校部会が開催されました。この日の協議内容は、「1学期の学校評価結果」についてでした。

和寒中学校は、4月以降、「礼儀と挨拶を大切にする」「自ら決めて、自ら取り組む」ことを土台に、重点目標『活動を振り返り、見通しをもって行動する生徒の育成』に向けて「㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪」になぞらえた「和寒中学校のめざす姿」の具体的な取組を展開しています。中でも、「㊦かる授業で確かな学力をつけます」では、学習規律や課題の提示と振り返りの徹底、主体的・対話的で深い学びの視点で授業改善を精力的に進めています。また、家庭との連携を通して、目標を立てて取り組み・振り返るなどの学習スタイルの確立・家庭学習の習慣化を図っています。そして、「㊩ずかしいことに挑戦する態度を育てます」では、自ら決めた目標に向かい、自己の向上を目指す取組を行っており、文化祭を絶好の機会と捉えています。

この日は、これらを含む5観点について保護者、生徒、教職員によるアンケート調査の結果について報告されました。それによると、5観点のそれぞれの取組は順調に進み、成果を得ているということでしたが、「ほぼ毎日、家庭学習を行っている」では、生徒の自己評価が50%を割り低調な結果となりました。また、「自分で決めた目標の実現のために、自らの行動を振り返り行動する」については、保護者や教職員の評価がやや低い結果となった旨の報告がありました。

学校は、この結果を受けて2学期以降対策を講じていくとしていますが、実際生徒は、宿題を含めた家庭学習には取り組んでいますし、様々な活動場面では目標を立て取り組んでいます。しかし、それが学習面や生活面の自己成長に大きくつながっているかという点で、今後課題を残しています。

一方、保護者の記述回答についての報告もありました。報告では、学校教育全般についての内容が報告されましたが、特に「農村地域の子どもたちの通学しやすい環境づくり」ということで”通学バス”について、そして、新たな部活動の新設要望、体育祭の開催日程について意見交流の話題が集中しました。通学バスについては、昨年の実験運行及び現状を踏まえ教育委員会と話し合いを進めていく他、新設の部活動については、学校の置かれている部活動の現状と指導者の面でさらに検討を加え、体育祭の開催日程については、保護者の観覧状況や生徒の負担を考慮して検討していくとしました。

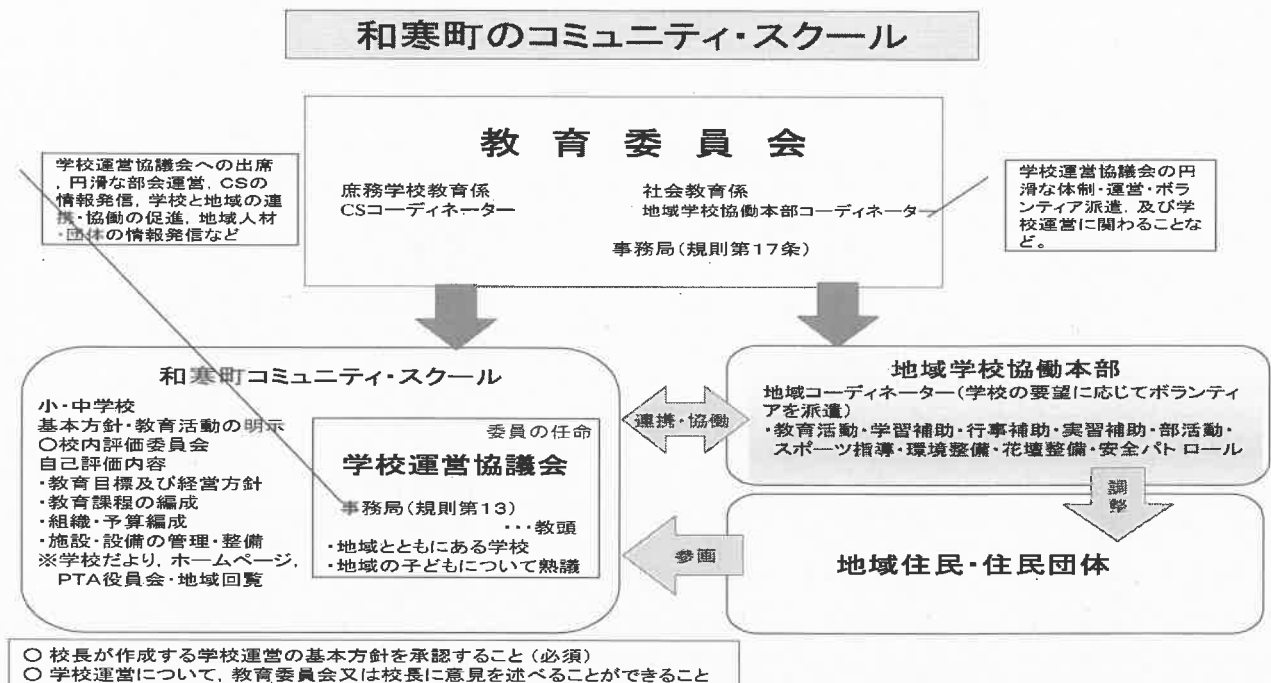
その他、4月に実施された全国学力・学習状況調査結果についても話題になりましたが、概略説明にとどまり、詳しくは教育委員会からの結果報告を待つこととしました。僅かの開催時間でしたが意義ある意見交流が行われ、中学校部会としては課題を学校と共有し、子どもたちにとってよい環境づくりを今後も進めていくことを確認し閉会しました。



# コミュニティ・スクールあれこれ

今、学校には様々な課題の解決が山積み、その解決が求められています。「学力」低下、規範意識の低下、コミュニケーション不足、社会性の未発達、集中力・忍耐力の欠如、「こ食」(孤食、粉食、個食・・・)、少子化、生活体験不足、児童虐待、ネット犯罪やケータイ依存症、公衆マナー、いじめ、不登校、ひきこもり等々。これらの課題を学校だけで解決していくには、もはや困難を極めています。さらなる地域住民参画による学校づくりや子どもの教育支援が必要となってきたのは明白のことです。それを可能としたのが、学校運営協議会の設置であり、コミュニティスクールなのです。コミュニティスクールのメリットは、学校において教職員の異動や子どもの減少、地域の世代替わりに左右されずに充実した学校運営ができることです。それは、学校運営協議会が「持続可能な仕組み」であることに他なりません。

ただ、地域の声を学校運営に生かし、地域ならではの創意や工夫を生かした特色ある学校づくりを進めていくためには、コミュニティスクールと「地域学校協働本部」が相互に補完し高め合う存在として、両輪となって相乗効果を発揮していくことが重要となります。



いわば、「地域学校協働本部」は、児童・生徒の健全な育成を図るため、地域の教育力を活用し、地域ぐるみで学校運営を支援する”和寒の実働部隊”なのです。地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民の参画を得て、連携・協働して様々な活動を展開していきます。

活動内容は地域の実情に応じて異なりますが、放課後の子ども教室から始まり、学校の授業支援、さらには郷土学習や学校と地域の行事の共催、学校の環境整備や登下校の見回り、放課後や土曜日の教育支援に広がっていく可能性があります。いずれにしても大事なものは、子どもたちの成長にとって何が重要であるかを地域で共有し、ビジョンを持つ活動であることです。

※内容に関する問い合わせは、教育委員会内庶務学校教育係(TEL 32-2477)まで